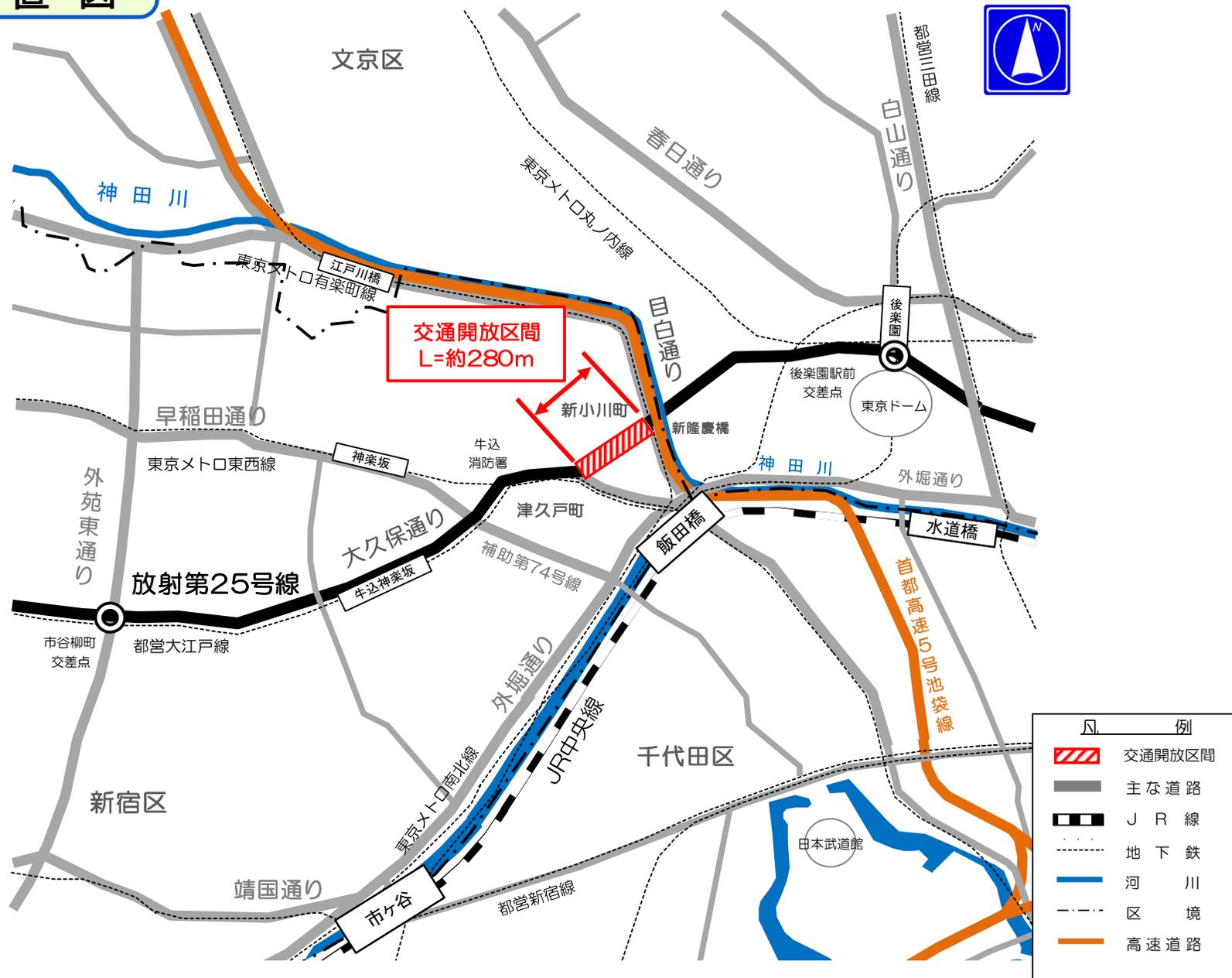


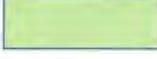
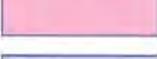
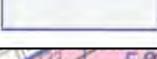
事業概要

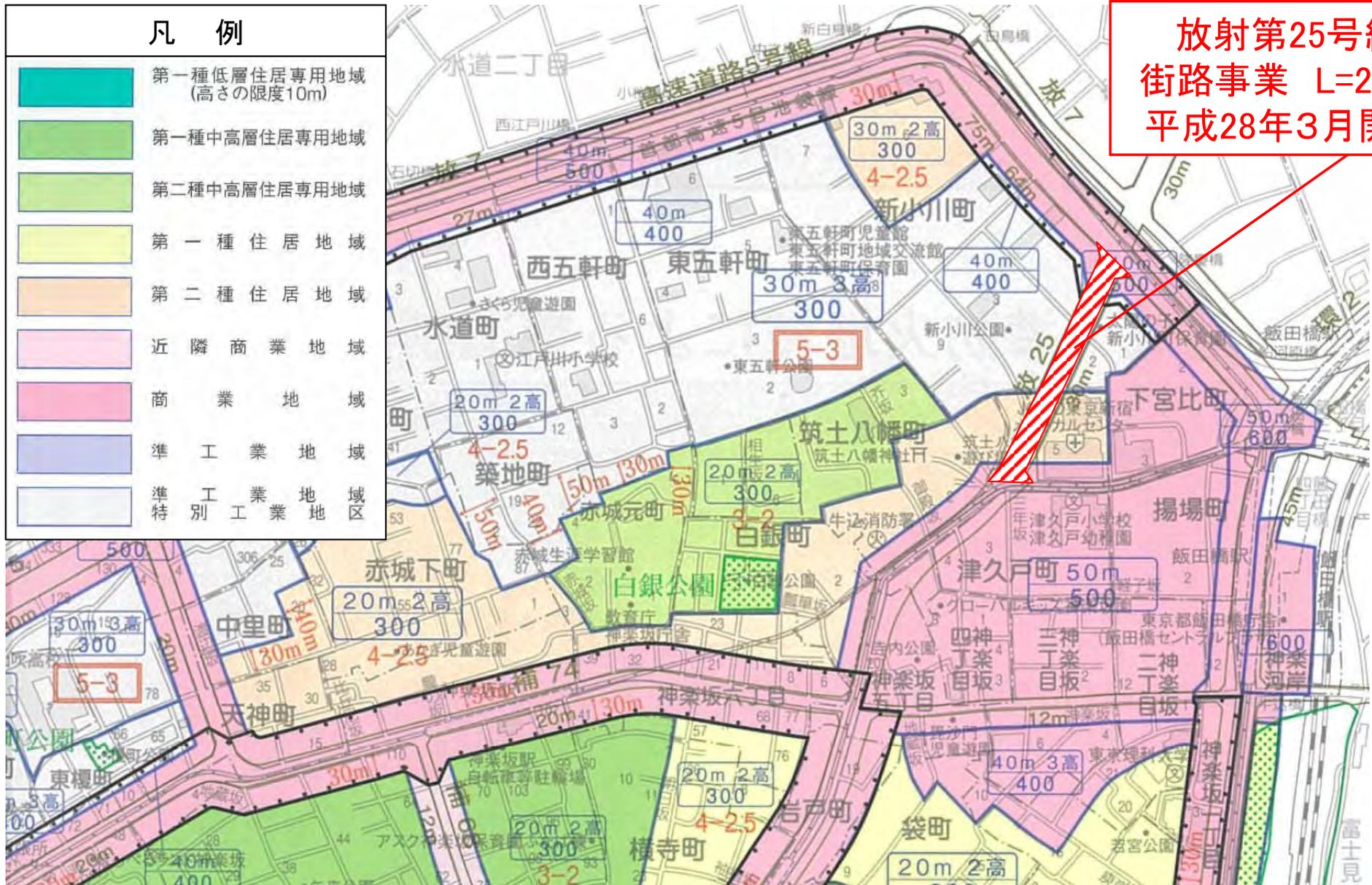
応募No.	6		
事業主体	東京都建設局	実施都市名	東京都新宿区
応募者名	東京都第三建設事務所		
ふりがな 事業名称	とうきょうとしけいかくどうろほうしゃだい25ごうせん 東京都計画道路放射第25号線		
事業概要 (400字以内)	<p>放射第25号線は、新宿区新宿七丁目から文京区本郷二丁目に至る延長約4.7kmの放射方向の路線であり、区部中心部を東西に結ぶ重要な幹線道路である。</p> <p>このうち、唯一現道のない新宿区津久戸町から新小川町までの280m区間について整備を行った。本事業により、東西方向のアクセス性が向上するとともに交通の円滑化が図られた。</p> <p>また、広幅員の歩道、自転車レーン、中央分離帯の設置などにより、歩行者・自転車・自動車の道路交通上の安全性、延焼遮断帯が形成されるとともに緊急車両の走行がスムーズになり地域の防災性、電線共同溝設置に伴う無電柱化による都市景観が向上した。さらに沿道建築物の建替えもあり地域の活性化などの整備効果があった。</p> <p><事業経緯></p> <p>昭和21年3月26日 都市計画決定 平成18年6月30日 事業認可取得 平成24年12月 工事着手 平成28年3月13日 交通開放</p>		
事業規模	事業延長	約280m	
	幅員	30m	
	事業期間	平成18年度～平成27年度	
	事業費	約130億円	

事業位置図



都市計画図(用途地域図)

凡 例	
	第一種低層住居専用地域 (高さの限度10m)
	第一種中高層住居専用地域
	第二種中高層住居専用地域
	第一種住居地域
	第二種住居地域
	近隣商業地域
	商業地域
	準工業地域
	準工業地域区



放射第25号線
街路事業 L=280m
平成28年3月開通

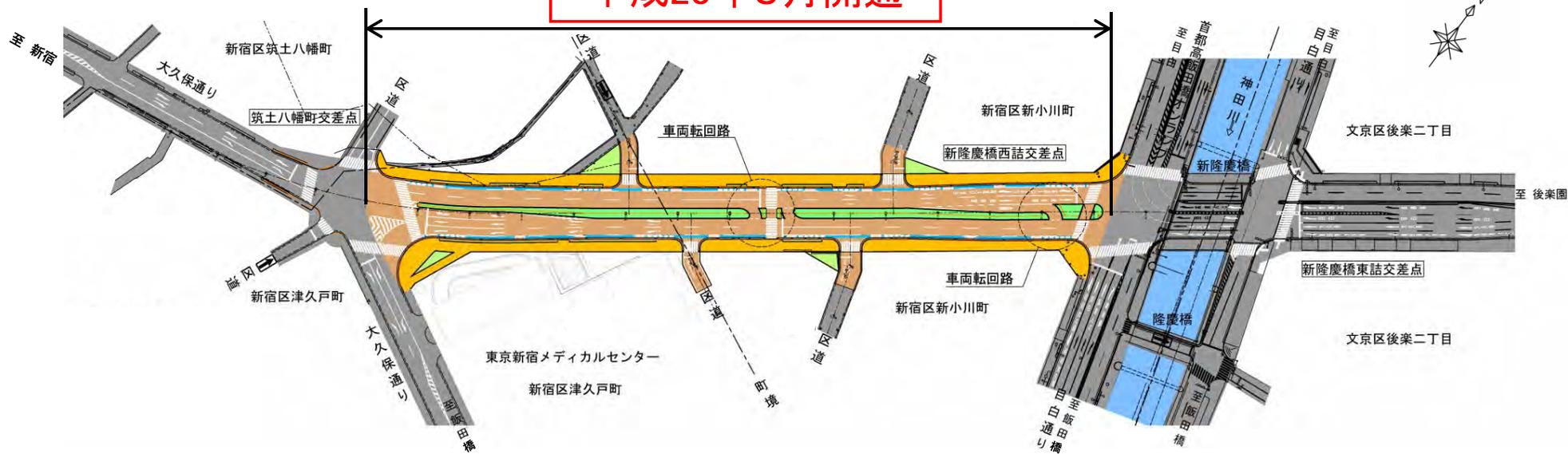
平面図

事業前



事業後

放射第25号線
街路事業 L=280m
平成28年3月開通

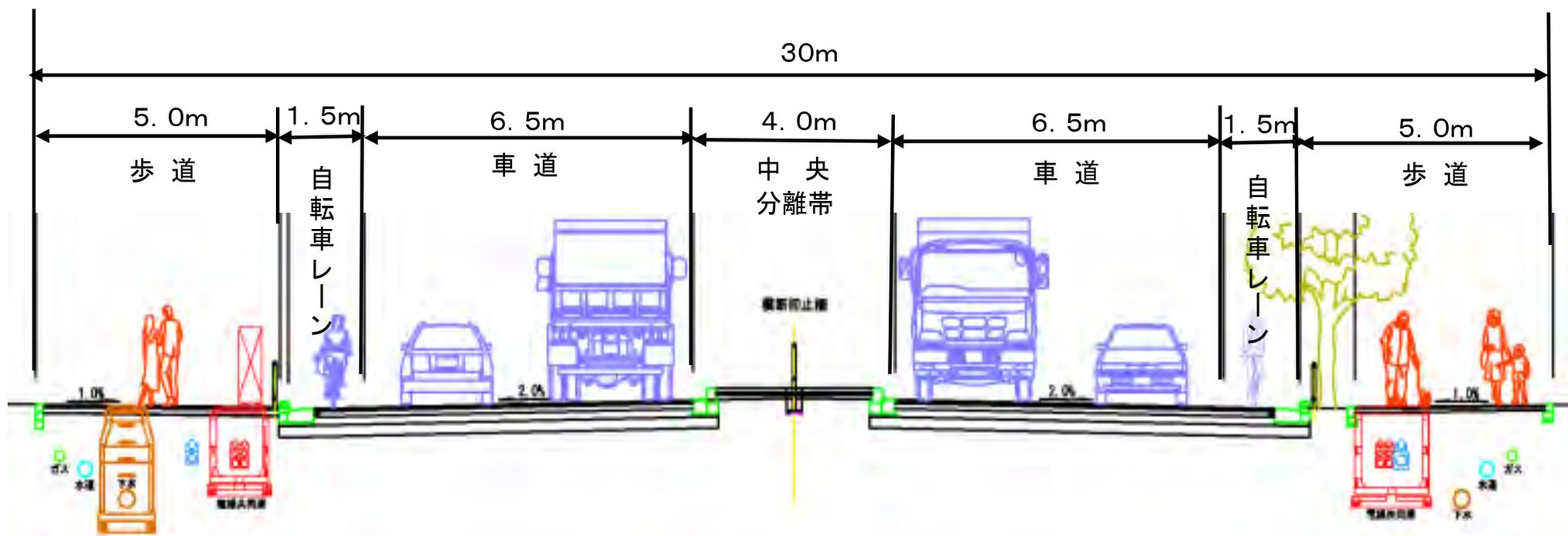


横断図

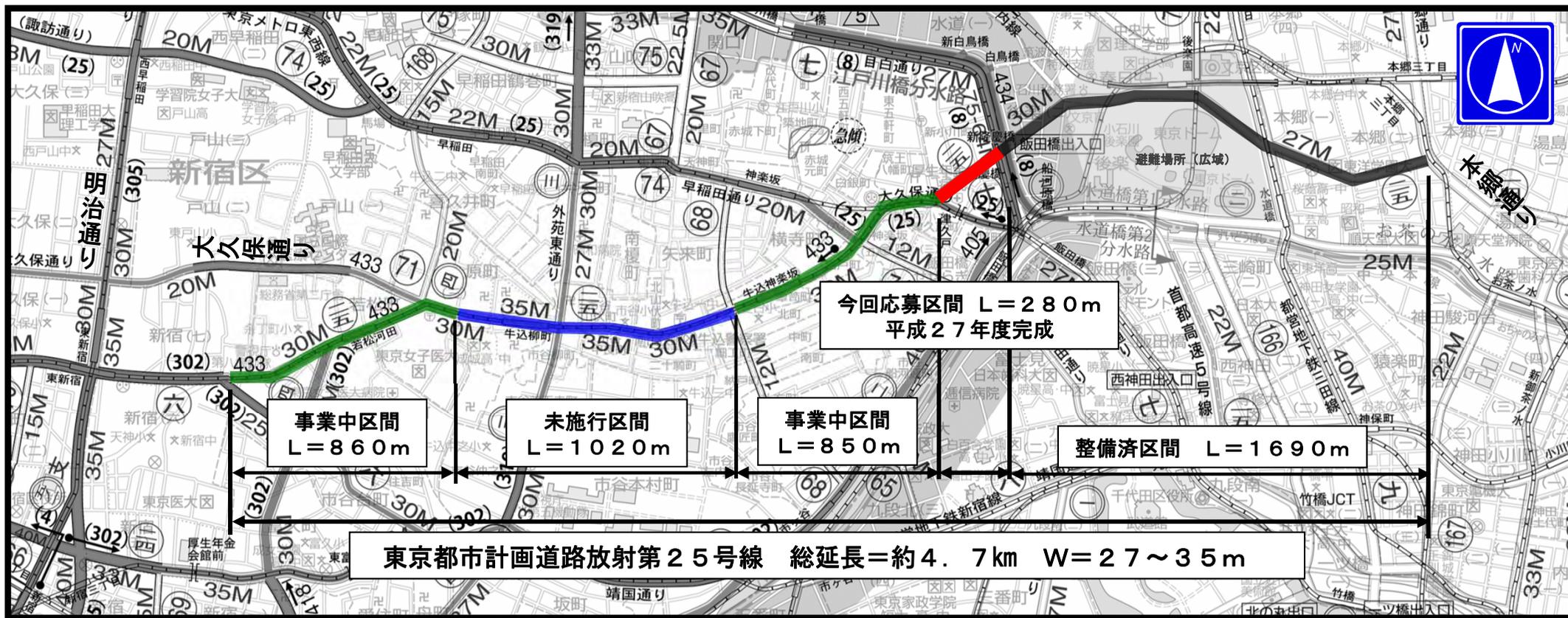
事業前

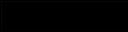
現道なし

事業後



路線全体の進捗状況



凡例			
	今回応募区間		既設道路
	施行済区間 (完成区間)		
	事業中区間		
	未施行区間 (調査・計画区間)		

事業前写真



平成25年5月撮影

事業後写真



平成28年3月撮影

(放射第25号線)



平成25年5月撮影



平成28年3月撮影

事業効果アピール資料

1) 東西方向のアクセス性の向上

○市谷柳町交差点から後樂園駅前交差点間の平均所要時間が、約13分から約9分になるなど約3割短縮された。

(図1)

(計測区間) 市谷柳町交差点～後樂園駅前交差点

(移動距離) 事前約2.9 km、事後約2.6km (本線開通により距離短縮)

(所要時間) 事前 (H24.11.20) 事後 (H28.9.13)

往路 13分00秒 (平均) → 8分59秒 (平均)

復路 12分48秒 (平均) → 9分12秒 (平均)

2) 周辺道路の交通量が減少

○開通区間と並行する大久保通りの交通量が約2割減少した。(図1)

(計測箇所) 飯田橋交差点

(交通量) ※断面交通量

事前 (H24.11.29) 事後 (H28.9.13)

11,888 (台/12時間) → 9,621 (台/12時間)

3) 地域の交通安全性の向上

○歩道 (幅員5.0m)、自転車レーン (幅員1.5m)、中央分離帯 (幅員4.0m) 等の設置により歩行者、自転車、自動車の安全性が向上した。(写真①～③、平面図、横断図)

4) 地域の防災性の向上

○現道が無い区間に30m幅員の道路を整備したことによる延焼遮断帯機能、緊急車両の走行性、避難場所へのアクセス性の向上、また電線共同溝設置の無電柱化等により地域の防災性が向上した。

事業効果アピール資料

【道路利用者へのアンケート調査結果】

- 消防署：「緊急時に目的地へ早く到達するようになった」
 - 医療機関：「文京区からのアクセスが良くなった」
 - タクシー事業者：「通り道の選択肢が増えた」
- など、整備効果について利用者が実感している。

【良好な景観形成の実現】

1) 電線共同溝設置による景観の向上

電線共同溝整備設置による無電柱化により都市景観が向上した。(写真①②③)

【地域の活性化】

1) 建替えによる地域の活性化

沿道建築物の建替えにより地域が活性化した。(写真①)

【環境保全対策】

1) 遮熱性舗装によるヒートアイランド対策

遮熱性舗装によりヒートアイランド対策を実施した。(写真①③)

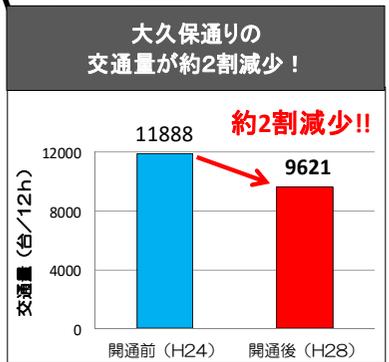
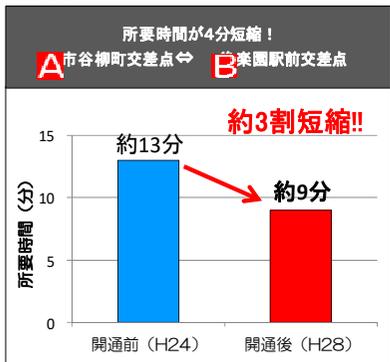
事業効果アピール資料

開通6ヶ月後の利用状況 (図1)



交通開放区間
L=約280m

- 例
- 交通開放区間
 - 主な道路
 - J R 線
 - 地下鉄
 - 河川
 - 区境
 - 高速道路



全体の状況 (写真①)



歩道状況 (写真②)

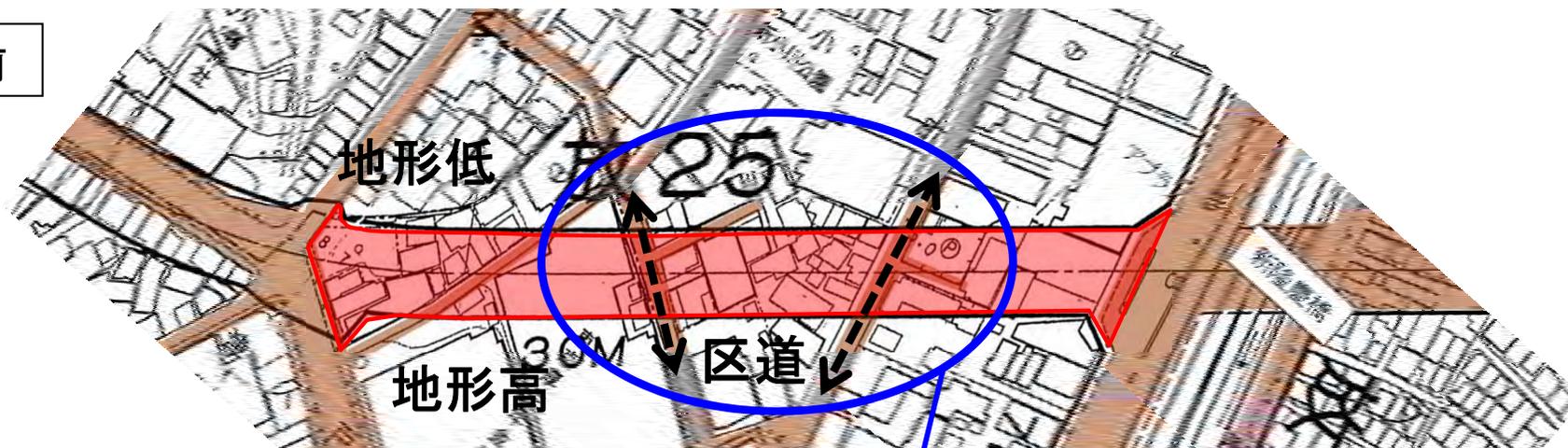


自転車レーン状況 (写真③)



苦勞や工夫等アピール資料

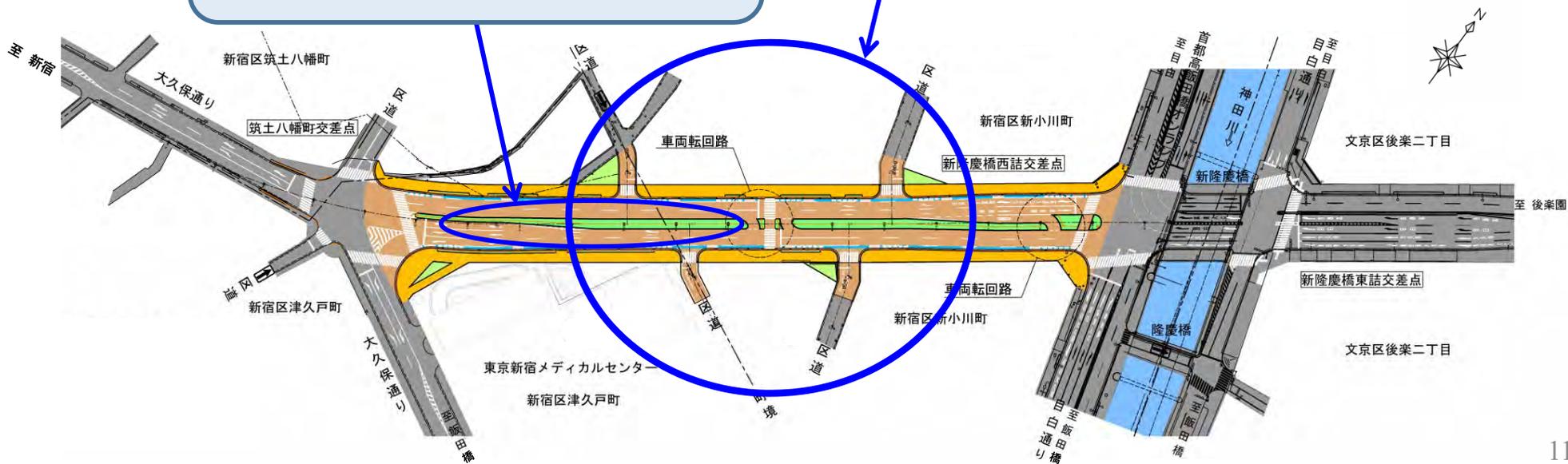
事業前



• 工夫点
南北の高低差を中央分離帯に
段差を設けることで解消

• 苦勞した点
中央分離帯による区道の分断や
横断箇所の集約等の地元説明

事業後



- 2016年都建賞都市部門受賞
- 2016年3月4日
建設通信新聞、日刊建設工業新聞掲
・ 25号線開通で駅周辺混雑緩和に期待
- 2016年3月11日
日経新聞掲載
・ 早稲田通りや靖国通りの混雑緩和、広域避難場所へのアクセス向上

受賞歴・報道資料

飯田橋駅付近
新道路を開通
報 13日
東京都は13日、JR東
日本橋駅付近に新たな道路

を開通させる。大久保通
りと同目通りを結ぶ約2
80mの区間で、新宿か
ら東京ドーム周辺につな
がる新たな東西幹線道路
になる。早稲田通りや蟻
国通りなどの混雑緩和に
も効果がとるとみてい
る。
新たな道路は4車線
で、新宿区津久戸町と同
区新小川町をつなぐ。都
が2006年度から事業
を進めてきた。広域避難
場所へのアクセス向上も
見込まれる。

建設通信新聞

25号線開通で駅周
辺混雑緩和に期待
都建設局
東京都建設局は13日、放射第25
号線(新小川町)を交通開放する。
東西方向の新たな幹線道路ネット
ワークが形成され、飯田橋駅周辺
の混雑緩和による自動車交通の円
滑化が期待される。また延焼遮断
帯の形成や広域避難場所へのアク
セス向上で、防災性も向上する。
交通開放するのは、新宿区津久
戸町の大久保通りから同区新小川
町の目通りまでの約280m。
2006年から事業着手した。事
業費は約130億円。幅員は30m。
4車線の標準で、自転車進行空間
の確保、無電柱化などを実施した。

日刊建設工業新聞

13日に開通
東京都、放射第25号線新
宿区津久戸町〜新小川町
東京都が整備を進めて
いる都市計画道路放射第
25号線のうち、新宿区津
久戸町〜新小川町間の延

長約280mが13日午前
10時に開通する。
開通するのは、大久保
通りから目通りまでの
区間で、幅員30mの4車
線道路となる。事業費に
約130億円を投じ、06
年度から整備を進めてき
た。
今回の開通により東西
方向の新たな幹線ネット
ワークができることで、
飯田橋駅周辺の混雑緩和
とともに、延焼遮断帯の
形成や広域避難場所への
アクセス改善による防災
性の向上が期待される。